

1 調査名称：筑紫野市都市計画道路見直し検討業務委託

2 調査主体：筑紫野市

3 調査圏域：筑紫野都市圏

4 調査期間：平成22年度

5 調査概要：

筑紫野市の都市計画マスタープラン等に示されている本市の実情に即した土地利用方針及び交通体系の方針を踏まえ、長期未着手の状態にも配慮しながら、未着手路線の計画堅持の必要性を検証しつつ、必要に応じて都市計画道路の見直し案の作成を行う。内容としては、「都市計画道路網見直しの必要性の整理」「未着手都市計画道路見直し方策の検討」「道路網基本計画の検討」を行う。

## I 調査概要

1 調査名 : 筑紫野市都市計画道路見直し業務委託

### 2 報告書目次

#### 1. 業務概要

1.1 業務の目的

1.2 業務の概要

1.3 実施手順

#### 2. 都市計画道路網見直しの必要性整理

2.1 筑紫野市の道路網の現状・課題

2.2 道路整備を取巻く社会経済情勢の変化

2.3 上位計画等におけるまちづくりの方向性の変化

2.4 都市計画道路網見直しの必要性

#### 3. 未着手都市計画道路見直し方策の検討

3.1 路線の持つ位置づけの確認

3.2 路線の持つ機能の確認

3.3 事業実施環境等に関する評価

3.4 路線別見直し方策の検討

#### 4. 道路網基本計画の検討

4.1 将来交通量の推計

4.2 概略道路構造検討（概略設計）

4.3 概略道路構造検討（交差点計画設計）

4.4 道路網基本計画の検討・評価

4.5 都市計画図書案作成

## 3 調査体制

都市計画道路見直しワーキング会議

## 4 委員会名簿等：

役職	部	課等名	担当名	氏名	備考
委員	総務部	総務課	交通・防災	江口達弥	
〃	総合政策部	企画財政課	企画調整	高木伸泰	
〃	市民生活部	環境保全課	環境保全	池松幸路	
〃	建設部	都市計画課	計画	境 康	
〃	建設部	都市計画課	計画	黒屋和孝	
〃	建設部	建設課	管理	池田英雄	
事務局	建設部	建設課	土木	熊手寛明	
〃	建設部	建設課	土木	太田茂紀	
〃	建設部	建設課	土木	黒岩祐子	
〃	(株) 福山コンサルタント			結城 勲	
〃	(株) 福山コンサルタント			吉田郁美	

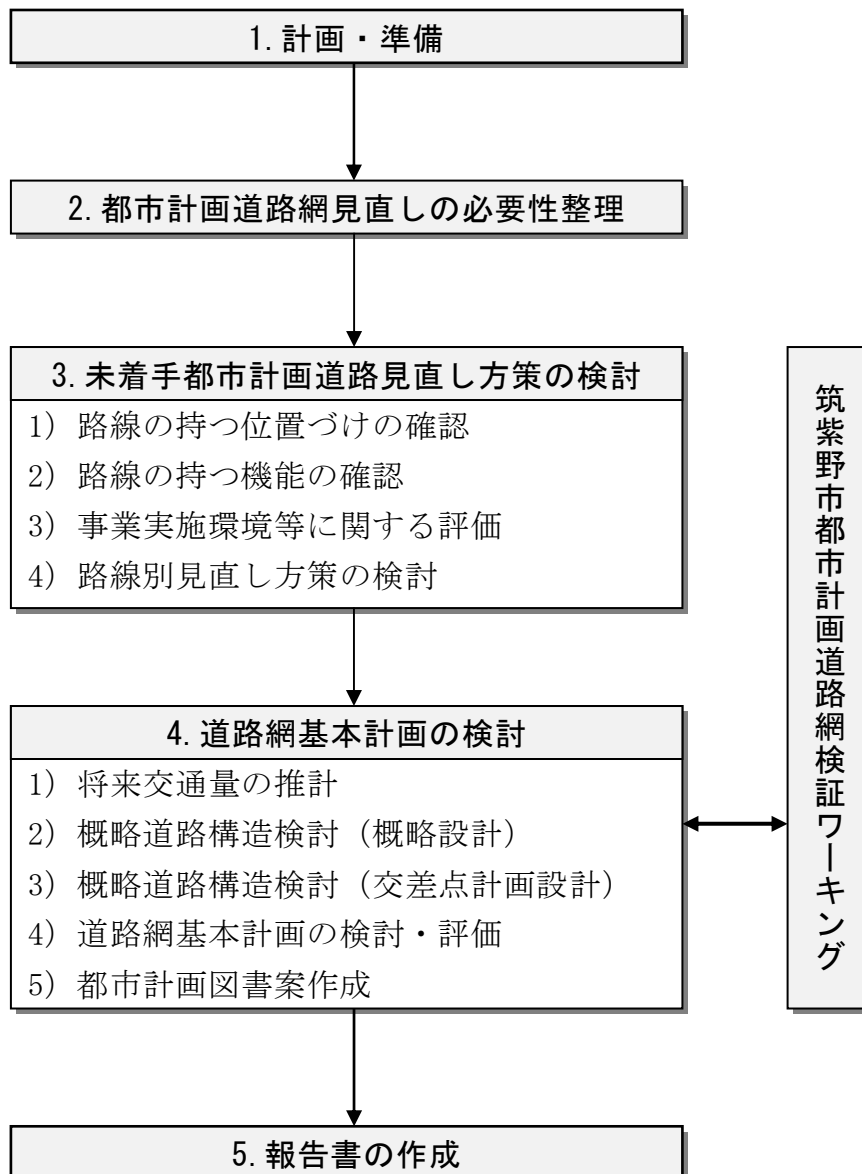
## II 調査成果

### 1 調査目的

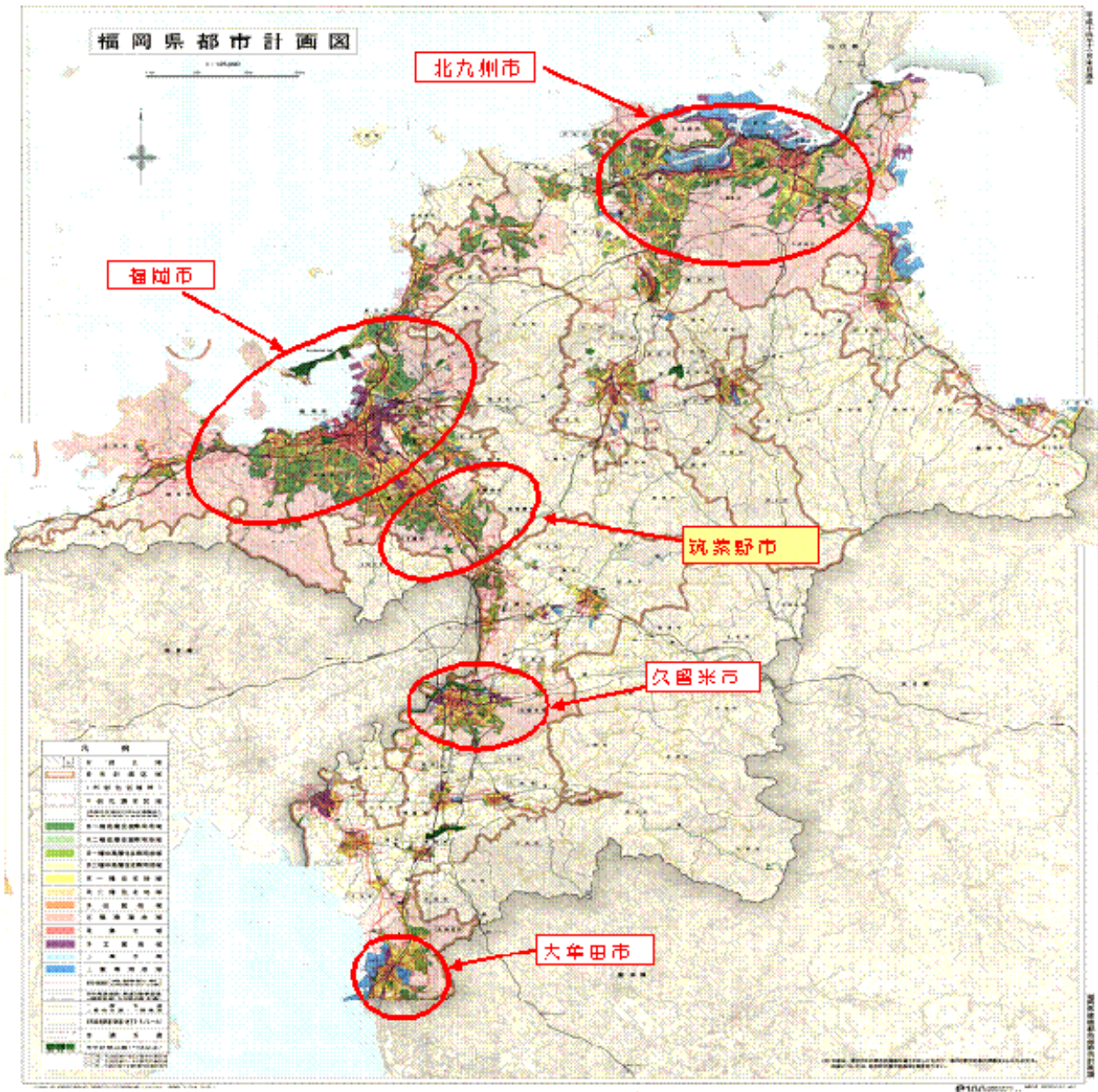
筑紫野市の都市計画道路は、計画延長47.7kmのうち約3割が未着手となっている。未着手のうち8割は当初決定から40年以上が経過しており、社会情勢やまちづくりの方向性など道路を取り巻く環境の変化をふまえると、今後の都市計画道路網のあり方を見直す必要がある。

そこで、福岡県における都市計画道路の見直しの方針を示した「福岡県都市計画道路検証方針」を参考に、様々な観点から未着手路線について詳細な検証を行う。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



#### 1. 位置

筑紫野市は東西の距離15.6km南北の距離が14.1kmで、87.73km<sup>2</sup>(8,773ha)の面積を有し、太宰府市、大野城市、小郡市、那珂川町、筑前町、佐賀県基山町などと接しています。

#### 2. 都市計画区域

筑紫野市は市域面積の約2分の1である4,393haを都市計画区域として指定しています。

このうち約3分の1の1,395haを市街化区域として指定しており、用途指定のなかでは、9割弱(1,242ha)を住居系地域に指定しています。

#### 3. 人口・世帯数

筑紫野市は平成17年国勢調査において人口97,571人、世帯数35,372世帯となっています。

人口・世帯数・ともに増加傾向にあるものの、世帯当たり人員は減少傾向を示し、平成17年には3人/世帯を下回っています。

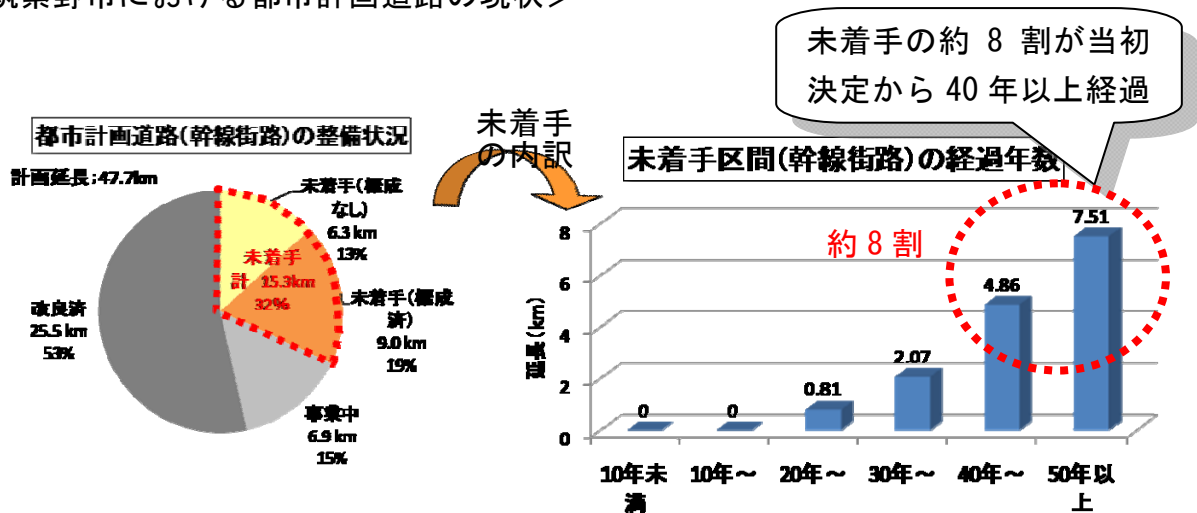
全国的な傾向と同じく少子高齢化も進行していますが、福岡県平均と比較すると、年少人口割合は上回り、老年人口割合は下回っています。特に老年人口割合の上昇率は、近隣市と比べ比較的緩やかです。

#### 4 調査成果

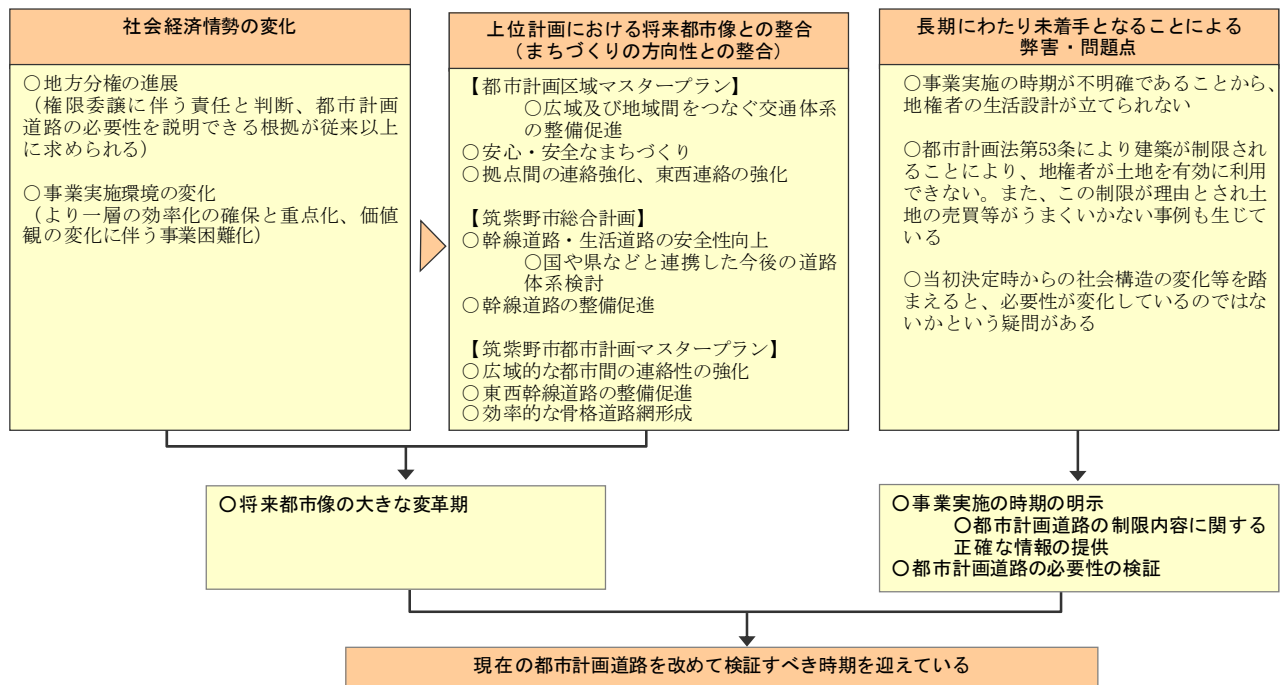
##### (1) 都市計画道路網見直しの必要性整理

筑紫野市における都市計画道路の現状や社会経済情勢の変化、まちづくりの方向性等をふまえ、都市計画道路網の検証の必要性を整理した。

##### <筑紫野市における都市計画道路の現状>



##### <都市計画道路網の検証の必要性>



(2) 未着手都市計画道路見直し方策の検討

未着手都市計画道路 11 路線について、路線の位置づけや路線の持つ機能、事業実施環境などを区間別に整理し、必要性及び実現性の観点から以下の検討フロー図に沿って評価を行った。

評価の際は路線別に検証カルテを作成し、評価方法や結果については、「筑紫野市都市計画道路網検証ワーキング」においてその妥当性を検証した。

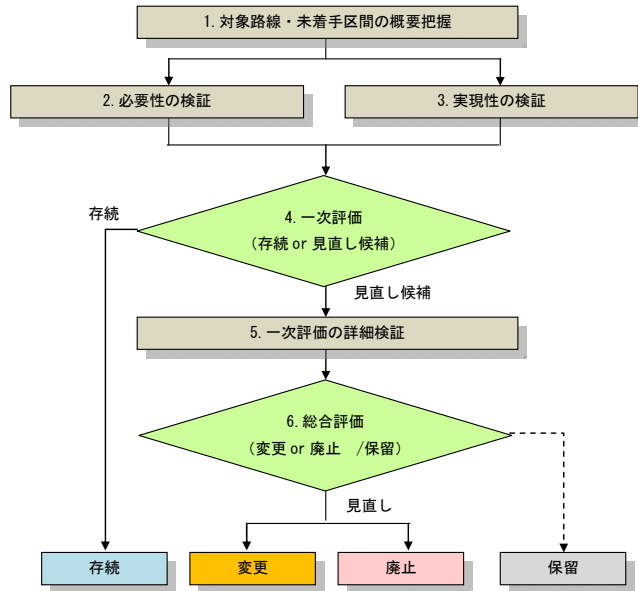


図 検討フロー

路線番号・路線名	3・4・4 開口先/路線	代替路線	路線全体の概要	評価結果
路線区間の概要	道路種別	市	未着手率(%)	47.7
実態把握	区間の経路/用途/用途、車上専用線、専用線等	区間の経路/用途/用途、車上専用線、専用線等	区間の経路/用途/用途、車上専用線、専用線等	区間の経路/用途/用途、車上専用線、専用線等
未着手区間の一次評価	評価項目	評価結果	決定の結果	評価結果
1. 道路網計画決定を行う上での留意点	都市計画決定の進捗	○	第1回決定 44年5月20日	○
2. 道路網計画における留意点	都市計画決定の進捗	○	第2回決定 46年12月24日	○
3. 路線が有する機能	交通機能	○	第3回決定 49年4月13日	○
4. 代替路線を有する路線の有無	代替路線の有無	○	第4回決定 53年10月15日	○
5. 事業実施における留意点	事業実施の留意点	△	第5回決定	△
必要性の検証	必要性の検証	△		△
実現性の検証	実現性の検証	△		△
一次評価結果	一次評価結果	△		△

図 ワーキング説明資料 (路線別検証カルテ)



### (3) 将来交通量の推計

道路網見直しに伴う交通処理面での影響を把握するため、将来道路網において既定計画ケース、見直し候補を全て反映したケース、見直し候補をそれぞれ単独で見直したケース（3路線）の全5ケースについて将来交通量推計を行った。

また、既定計画との差分を視覚化し、見直しに伴う影響を整理した。

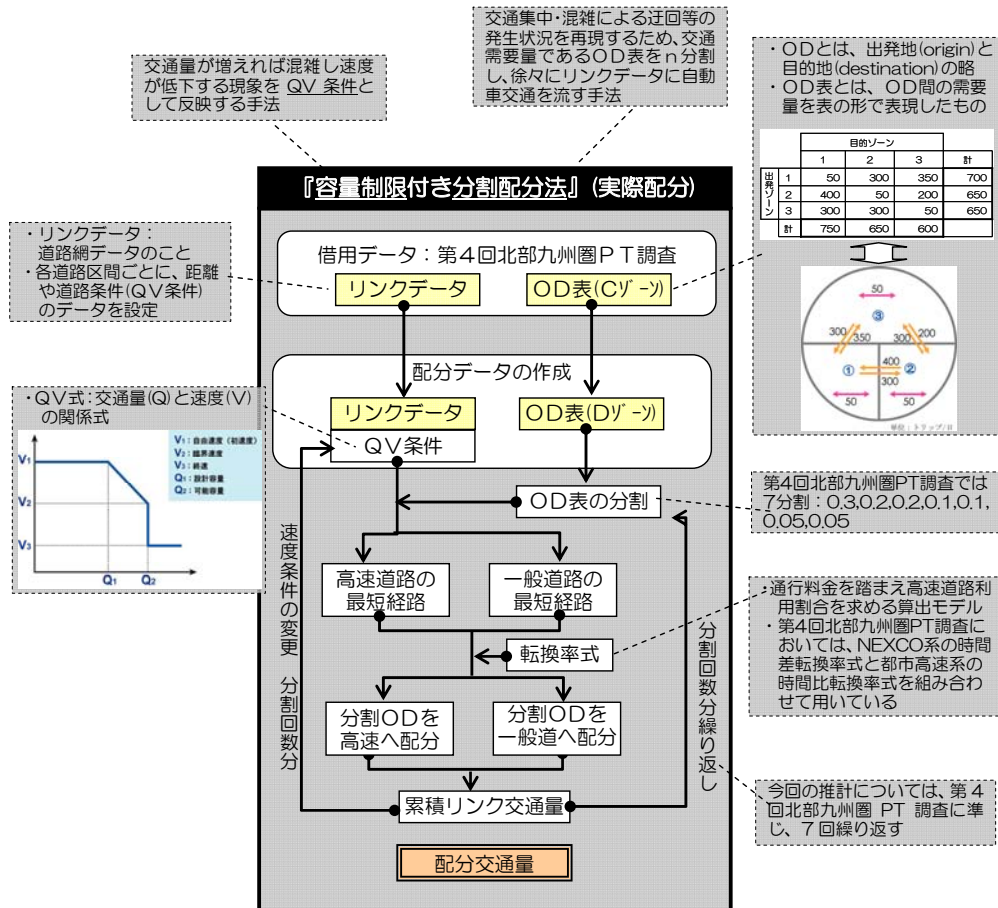


図 将来交通量推計フロー

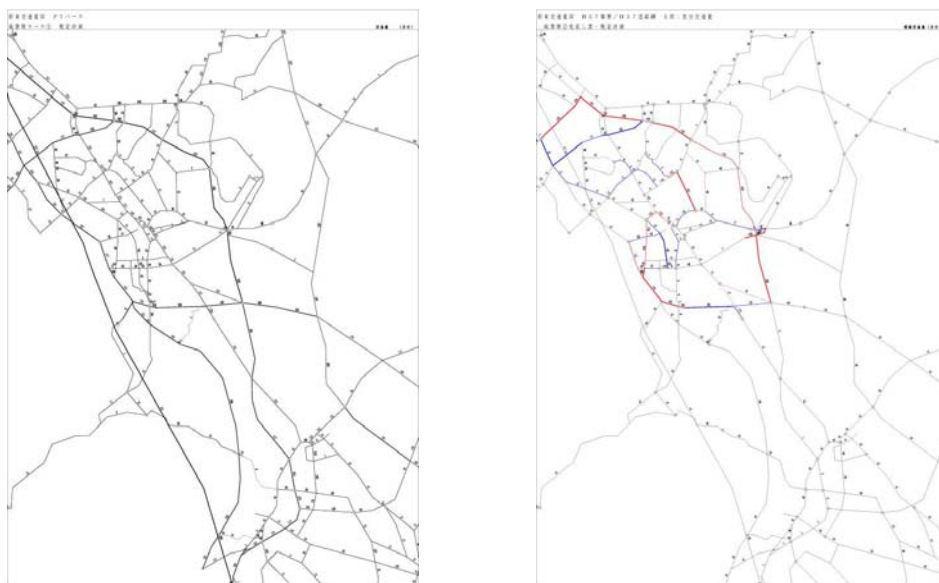


図 将来交通量推計結果（左；規定計画 右；見直しによる影響）



#### (4) 概略道路構造検討

見直し候補である1路線について概略設計(S=1/2,500)を行った。また、見直し候補路線に関連する3交差点について、交差点計画設計を行った。

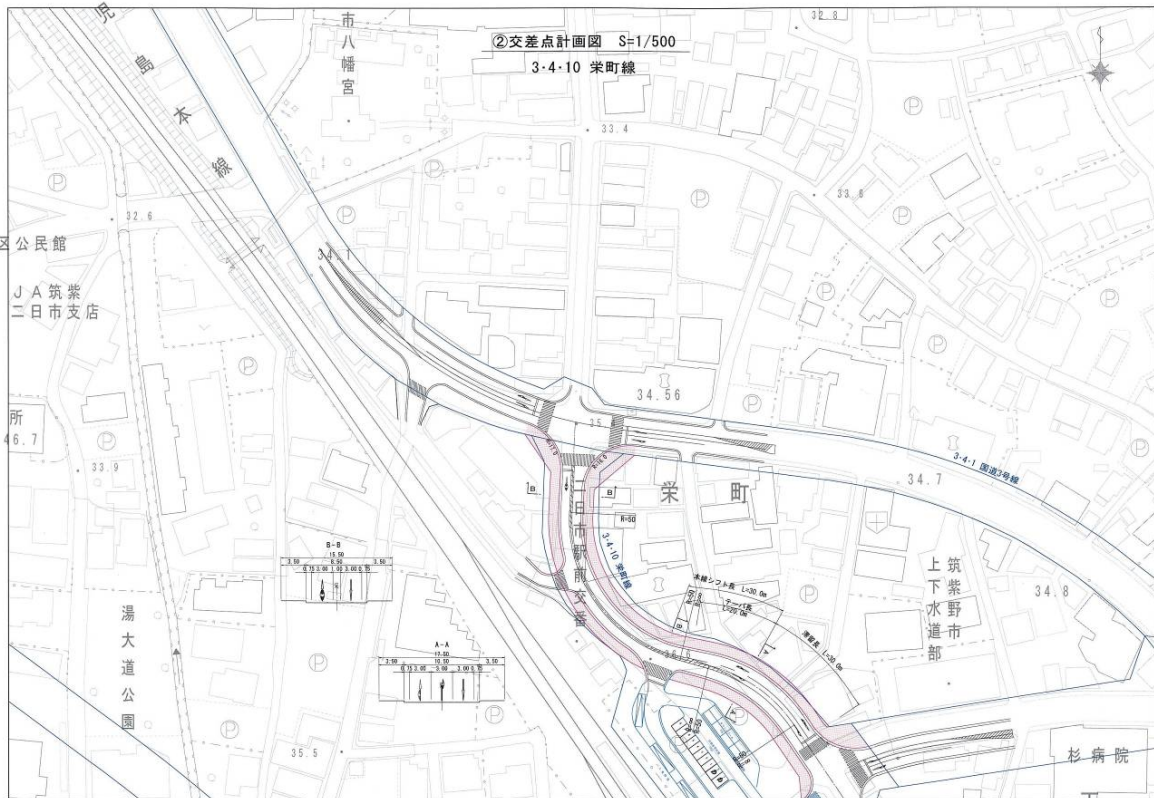
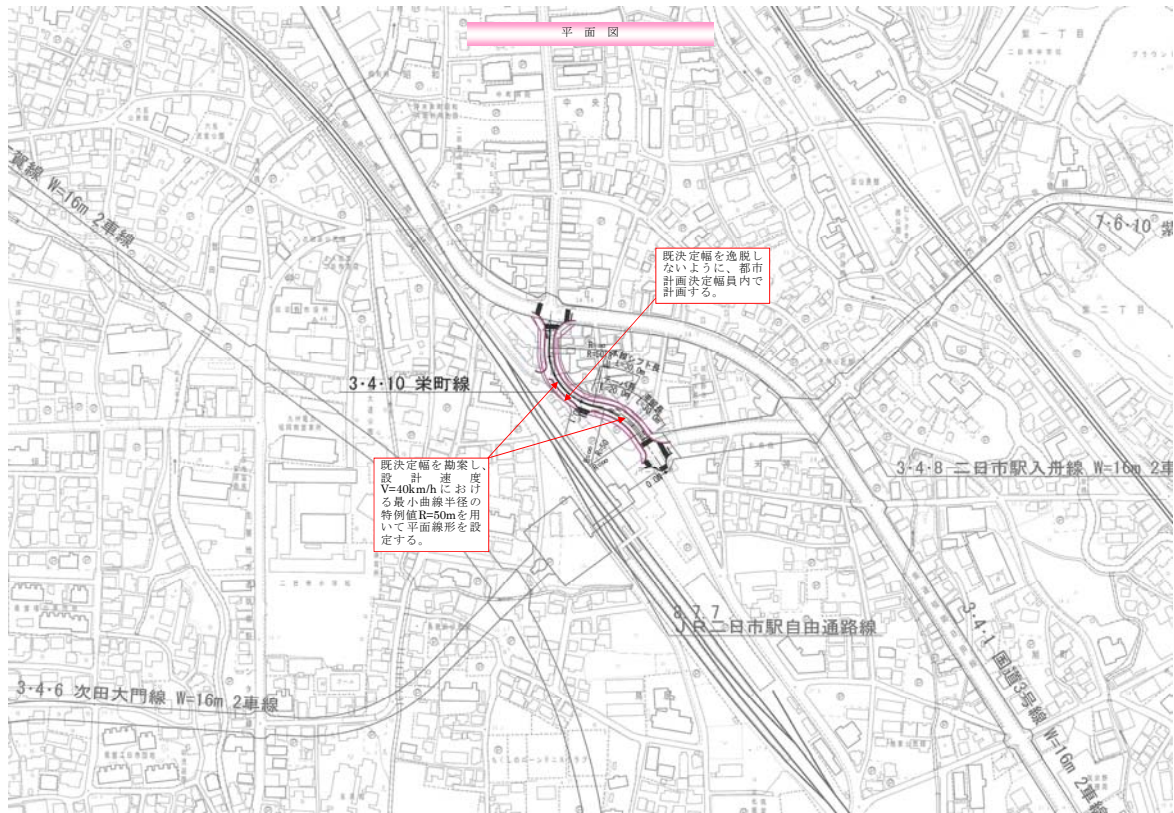


図 概略設計・交差点計画設計 (1例)

### (5) 道路網基本計画の検討・評価結果

以上をふまえ、都市計画道路網の基本計画を検討した。なお、下図に示す都市計画道路の変更(案)は、今後、学識経験者等を含めた委員会等にて詳細検証することを予定しており、変更される可能性がある。

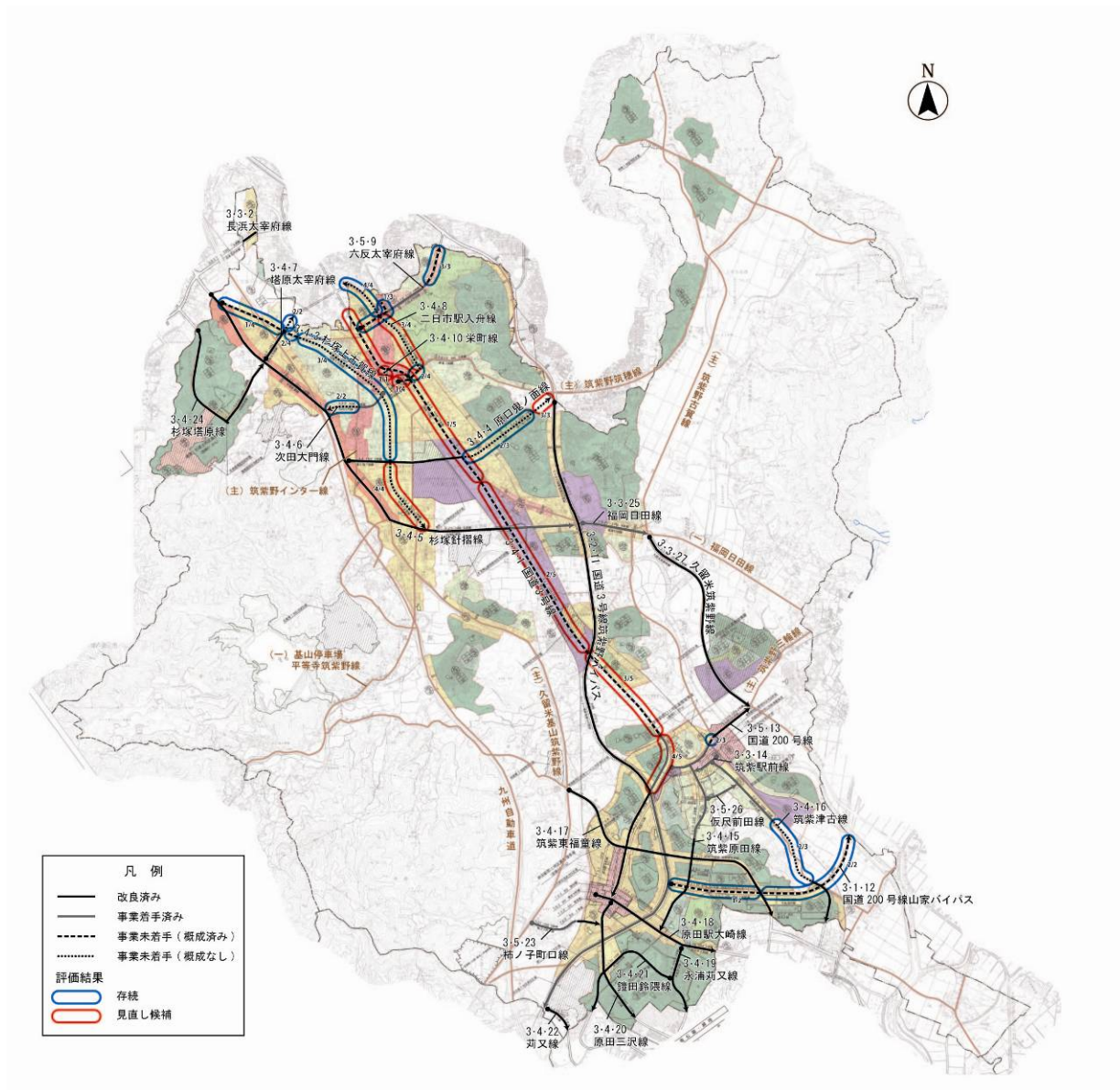


図 都市計画道路の変更(案)



## (6) 都市計画図書案作成

短期的に見直し手続きが想定される 3 路線について、都市計画図書案の作成を行った。なお、図面は今後の合意形成過程において変更される可能性がある。

